

日遊協第18回通常総会における講話

警察庁生活環境課 辻義之課長

警察庁生活環境課の辻義之課長は、6月7日に開かれた日遊協総会の席で講話をおこなった。以下は講話の全文。

今年3月26日に、和歌山県警察本部より警察庁生活環境課に着任いたしました。

生活環境課には、今から十数年前、当時まだ生活保安課と呼ばれていた時代、理事官として4年間勤務いたしました。そのうちの2年は主として銃刀法を担当しておりましたが、後の2年は風営法関連を担当しておりました。風営法の中でも、ぱちんこ営業に関する部分が、非常に大きな部分を占めておりました。日遊協も当時創設されたばかりで、PC導入や業界健全化等の諸問題に対して、若い経営者の皆さんと遊技産業の将来を見据えて真剣な議論をたたかわしました。その後、警視庁生活安全総務課を経て、しばらくこの分野とは離れておりましたが、再び警察庁生活環境課で仕事をさせていただきました。発足おられるのを知りました。

先日、日遊協との連絡会議にも顔を出させていただきました。が、なつかしい方もおられて感慨を覚える一方、日遊協が非常に幅広いテーマについてさまざまなお活動に取り組み、成果を挙げておられるのを知りました。発足

当初から見ると、その時間の経過とともに、着実に発展を遂げてきておられるということを実感した次第です。深く敬意を表したいと思います。

さて、ぱちんこ産業の現状について申しますと、ぱちんこ店舗数は平成7年末で1万8244店舗だったものが、昨年末には1万4674店舗と減少していま

す。遊技機設置台数は、平成7年が475万台、昨年末が494万台と、ほぼ500万台弱で推移しています。一方、「レジャー白書」等によれば、市場規模では、平成7年当時、30兆円と言われていたものが、平成17年では28兆7千億円。遊技人口は、平成7年当時2900万人といわれていたものが、平成17年では、1710万人に減っています。1店舗当たりの遊技機設置台数が増えていることは、店舗が大型化したことだらうと思います。

今年に入つて、業界にとっての大きな課題といえば、遊技機の射幸性の問題です。今年は、平成16年に行なわれた風営法施行規則改正に伴う遊技機の大幅な入替えが行なわれます。この入替えは、遊技機の射幸性の行く末を計る意味において、最低限必要な措置であつて、すみやかに入替えを行つていただきたいと思いま

す。

今国会でも、警察庁の生活安全部長が、一度にわたりぱちんこは賭博ではないのかという質問を受け、「ぱちんこ営業は、そもそも賭博に該当しない営業について、その営業の態様によっては、到底許されるものではなく、私どもとしては厳正に取り締りを行つた上で、厳正な行政処分を行つきました。これからも、そのようにしてまいりたいと考

内に児童を置き去りにして死亡させる事案などが新聞でも取り上げられ、大変、気になっていたところです。

業界では、こうした問題に対しで調査を行うほか、相談機関としておられるということを実感した次第です。深く敬意を表したいと思います。

さて、ぱちんこ産業の現状について申しますと、ぱちんこ店舗数は平成7年末で1万8244店舗だったものが、昨年末には1万4674店舗と減少していま

す。遊技機設置台数は、平成7年が475万台、昨年末が494万台と、ほぼ500万台弱で推移しています。一方、「レジャー白書」等によれば、市場規模では、平成7年当時、30兆円と言われていたものが、平成17年では28兆7千億円。遊技人口は、平成7年当時2900万人といわれていたものが、平成17年では、1710万人に減っています。1店舗当たりの遊技機設置台数が増えていることは、店舗が大型化したことだらうと思います。

今年に入つて、業界にとっての大きな課題といえば、遊技機の射幸性の問題です。今年は、平成16年に行なわれた風営法施行規則改正に伴う遊技機の大幅な入替えが行なわれます。この入替えは、遊技機の射幸性の行く末を計る意味において、最低限必要な措置であつて、すみやかに入替えを行つていただきたいと思いま

す。

今国会でも、警察庁の生活安全部長が、一度にわたりぱちんこは賭博ではないのかという質問を受け、「ぱちんこ営業は、そもそも賭博に該当しない営業について、その営業の態様によっては、到底許されるものではなく、私どもとしては厳正に取り締りを行つた上で、厳正な行政処分を行つきました。これからも、そのようにしてまいりたいと考

基づき必要な規制の上で営業が行われており、風営法で認められた範囲内で営まれている営業については、賭博罪に当たる行為を行つては、評価を受けることはない」との前提で答弁しています。

ぱちんこ営業は、「遊技」だから許容されているのです。どうか、射幸性を抑えた遊技機への入替えを、業界として取り組むべき大きな課題として、最大限の対応をしていただきたいと思います。

業界では、すでに「遊パチ」の普及や「1円パチンコ」「10円スロット」など、射幸性を抑える努力をしておられます。業界にとっておられる大変、いいことだと思います。

遊技機をめぐる問題としては、もうひとつ、不正な遊技機改造事業が、依然として無くならないという問題があります。遊技機の射幸性を抑止していくこうとう中で、不正を働いてまで射幸性を高めようという行為は、許されません。業界が健全化に取り組んでいる時、ルールを破つて自分ひとり良ければいいという行為は、到底許されるものではなく、私どもとしては厳正に取り締りを行つた上で、厳正な行政処分を行つきました。これからも、そのようにしてまいりたいと考

業界には、賞品とりそろえの充実をお願いしているところであります。賞品とりそろえの充実は、お客様に賞品を選ぶ楽しみを提供し、換金需要の低減にもつながるものと思います。引き続き、このご努力をお願いします。

法令の遵守についても、特段の努力をお願いします。行政処分の件数は、近年、増加傾向にあります。平成18年度は1069件で、対前年比128件の増加となっています。処分の内容は、取消し、指示とともに増加しています。違反事由としては、遊技機を含む構造設備の無承認変更しておられます。業界にとっておられる大変、いいことだと思います。

業界では、すでに「遊パチ」の普及や「1円パチンコ」「10円スロット」など、射幸性を抑える努力をしておられます。業界にとっておられる大変、いいことだと思います。

遊技機をめぐる問題としては、もうひとつ、不正な遊技機改造事業が、依然として無くならないという問題があります。遊技機の射幸性を抑止していくこうとう中で、不正を働いてまで射幸性を高めようという行為は、許されません。業界が健全化に取り組んでいる時、ルールを破つて自分ひとり良ければいいという行為は、到底許されるものではなく、私どもとしては厳正に取り締りを行つた上で、厳正な行政処分を行つきました。これからも、そのようにしてまいりたいと考



講話をする辻義之課長

6年以降、ぱちんこ遊技機等の不法投棄問題を受け業界ではいろいろな取り組みをされていることはよく承知しています。近年も、日遊協が中心となり、関係省庁とも連絡をとつて有効な対策をとられていると聞いておりまです。今後とも、業界が一致協力して、適正なりサイクル、廃棄台処理の仕組みを活用していただき、この課題に対処していただきたいと思います。

また、このほどドイツで行われたサミットで中心議題となりました地球温暖化対策についても積極的な取り組みをお願いしたいと思います。本日は、公の席なので私もネクタイを着用しておりますが、6月1日以降は、クールビズで執務しております。先日、環境省から担当課長がみえられ、それとの所管する団体等でも、要請がありました。私どもとしては、当課で所管する団体として、遊技業界とゲームセンター業界に、それぞれに地球温暖化対策の自主的な計画をつくって取り組んでいかれるようお願いし

たところであります。日遊協でも、いろいろな対策に取り組んでおられると思いませんが、さらには積極的な取り組みをお願いしたいと思います。先日、業界の方にお話をうかがいましたところ、最近ではコスト削減の観点から省エネもかなり進んでいるとのことでした。コスト削減という営業努力と、環境対策というのが自然に一致するというのは大変いいことであり、ぜひ今後も引き続きご協力を願いしたいと考えています。

業界の方からもいろいろ質問されますので、カジノ立法の関係について述べておきます。カジノ問題については、ご承知のようにカジノ議連というのが作られ、自民党の中で勉強会が行われています。関係する省庁の担当官として私も2回ほど呼ばれて出席しました。その中では、実際にシングボールでカジノを経営することになつている方のお話を聞いたというものが主な内容でした。

勉強会は、この5月で終わり、これからメンバーを絞つて、具体的な立法作業に入り、参院選終了後、次の通常国会を目指して作業を進めることであります。経営者の方からは、お台場

で自動販売機は、20歳未満ではタバコが買えないようカード式の販売機に切り換えています。タバコ業が行われるようお願いします。遊びがない世の中というのは、な

カジノとぱちんこ営業は、本来、性格の異なるものであり、競合することはないと思いますが、皆さんの中にも関心をお持ちの方もおられるでしょうから、これらも、いろいろご紹介できるものは、ご紹介していこうと思っています。

最後になりましたが、日遊協

は、ホールだけでなく、メーカーや販社の方も入って、ぱちんこ業界の健全化を進め、ぱちんこが国民にあたたかく迎えられる産業として成長を図つて行くことを目的とした公益法人です。私たちもその活動には常に大きな期待を寄せてています。

これまで、いろいろな問題提起をしておりました。これは、ぱちんこ人口は300万人といわれました。今でも1700万人が遊んでいます。しかし、それが大変ですが、そこまで行かないようにコントロールしていくことが大切なではないかと思います。

本来、お客様一人一人が自動的にコントロールすべき問題だという意見があることはわかります。しかし、やはりサービス業として繰り返しお客さんに注意を喚起してあげることも重要だと思います。タバコの例を出して比較すれば、それは適切ではないかもしれません。タバコも、気分転換にいい面があるものの体に悪い部分もある。タバコ会社もその辺のところを認識して、いろいろと努力しているように思います。

私は、今から20年くらい前にタバコは止めました。当時のタバコのパッケージには、「吸い過ぎに注意しましよう」程度のことしか書いてありませんが、最近は、い

たところであります。日遊協でも、いろいろな対策に取り組んでおられると思いませんが、さらには積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

先日、業界の方にお話をうかがいましたところ、最近ではコスト削減の観点から省エネもかなり進んでいるとのことでした。コス

ト削減という営業努力と、環境対策というのが自然に一致するというのは大変いいことであり、ぜひ今後も引き続きご協力を願いしたいと考えています。

これまで、いろいろな問題提起をしておりました。これは、ぱちんこ人口は300万人といわれました。今でも1700万人が遊んでいます。しかし、それが大変ですが、そこまで行かないようにコントロールしていくことが大切なではないかと思

います。

本来、お客様一人一人が自動的にコントロールすべき問題だという意見があることはわかります。しかし、やはりサービス業として繰り返しお客さんに注意を喚起してあげることも重要だと思います。タバコの例を出して比較すれば、それは適切ではないかもしれません。タバコも、気分転換にいい面があるものの体に悪い部分もある。タバコ会社もその辺のところを認識して、いろいろと努力しているように思います。

私は、今から20年くらい前にタバコは止めました。当時のタバコのパッケージには、「吸い過ぎに注意しましよう」程度のことしか書いてありませんが、最近は、い

ろんなことが書いてあります。その結果、多重債務や家庭不和、あげく強盗、窃盗などの犯罪の動機になつたりもしますので、そういうことにならないような形で営業が行われるようお願いします。

遊びがない世の中というのは、な